

平成25年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月12日

上場取引所 大

上場会社名 夢の街創造委員会株式会社
 コード番号 2484 URL <http://www.yumenomachi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 利江
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理グループ管掌 (氏名) 金子 正輝
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 06-4704-5401

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期第3四半期の連結業績(平成24年9月1日～平成25年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第3四半期	1,227	—	178	—	176	—	48	—
24年8月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年8月期第3四半期 114百万円 (—%) 24年8月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第3四半期	9.33	9.18
24年8月期第3四半期	—	—

(注) 1) 前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、平成24年8月期第3四半期の数値及び前期増減率については記載しておりません。
 (注) 2) 当社は、平成25年3月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年8月期第3四半期	3,234	2,262	69.9	435.30
24年8月期	2,357	2,196	92.6	419.94

(参考) 自己資本 25年8月期第3四半期 2,261百万円 24年8月期 2,182百万円

(注) 当社は、平成25年3月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	—	0.00	—	700.00	700.00
25年8月期	—	0.00	—	—	—
25年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年8月期(予想)配当金につきましては、現時点において未定です。具体的な配当金額につきましては、決定後速やかに公表いたします。

3. 平成25年8月期の連結業績予想(平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	47.1	240	13.9	240	8.8	70	△39.2	13.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年8月期3Q	5,548,800 株	24年8月期	5,548,800 株
② 期末自己株式数	25年8月期3Q	351,100 株	24年8月期	351,100 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年8月期3Q	5,197,700 株	24年8月期3Q	5,159,300 株

(注)当社は平成25年3月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要素によりこれらの予測数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間につきまして、当社グループは、第2四半期に引き続き、当社グループ「出前館事業」の競争力をさらに高めるための様々な施策を実施してまいりました。また、今後のビジネス拡大につなげるためのM&A、海外展開の見直しなど、グループとしてさらに発展するための基盤構築についても同時に行いました。

5月21日から、ヤフー株式会社による日本最大級のジオサービス「Yahoo!ロコ」内において更なるサービス連携を開始いたしました。出前館は平成17年6月末からYahoo! JAPANの「Yahoo! 出前注文サービス」へ出前館加盟店の情報提供を行ってまいりましたが、この度の更なるサービス連携により、「Yahoo!ロコ」内の店舗ページから直接出前を注文することが可能となりました。加盟店の店舗情報に加え、リアルタイムでの出前の待ち時間やネットクーポンの自動表示といった機能も追加されております。

5月17日には、株式会社薩摩恵比寿堂の全株式を取得し、連結子会社化いたしました。株式会社薩摩恵比寿堂は、機動的なコールセンターを運営し、高品質な焼酎を中心に、飲食店向けの通販事業を展開している企業であります。また、「繁盛グッズ」と称するポスターやテーブルPOPなどの販促ツールの制作・販売など、飲食店向けマーケティングサポート事業も実施し、事業を拡大してきております。今回の株式取得により、当社グループが有する加盟店とのネットワーク、ウェブマーケティングのノウハウ、株式会社薩摩恵比寿堂が有するコールセンター基盤、通販マーケティングのノウハウを相互に活用することで、当社グループの更なる販路拡大とユーザーの利便性向上を図ることが可能となります。また、主要顧客の業態が共に飲食業であることから、新たなビジネスチャンスの拡大に大きなシナジー効果が見込めるものと考えております。

海外展開に関しましては、一昨年からは、中国及び韓国については現地法人の設立、インドネシアについては現地企業との業務提携による展開を行ってきており、中国においては、平成23年12月設立後、出前ポータルサイトの運営を行ってまいりました。しかしながら、当初想定していた事業計画と乖離が生じ、現地でのデリバリーの利用実態等の実情を踏まえ、事業構造の見直しや収益改善に取り組んでまいりましたが、このまま事業を継続することは困難であると判断し、現地企業である夢耀（北京）信息技术有限公司に譲渡することといたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,227,267千円、経常利益は176,089千円、四半期純利益は48,495千円となりました。

なお、前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、前年同期比については記載しておりません。

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成24年5月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年5月31日)		増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
出前館事業						
基本運営費	—	—	202,344	16.5	—	—
オーダー手数料	—	—	665,864	54.3	—	—
広告収入	—	—	53,414	4.4	—	—
その他	—	—	144,761	11.7	—	—
小計	—	—	1,066,384	86.9	—	—
通信販売事業	—	—	160,882	13.1	—	—
合計	—	—	1,227,267	100.0	—	—

(注) 当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、前連結会計年度及び増減については記載しておりません。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、当社グループは従来、「出前館事業」の単一セグメントでありましたが、株式会社薩摩恵比寿堂が新たに子会社となったことに伴い、同社が運営する「通信販売事業」を報告セグメントといたしました。また、前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、前年同期比については記載しておりません。

①出前館事業

出前館事業セグメントにおきましては、当第3四半期連結会計期間末における会員数は約532万人を突破いたしました。また、加盟店舗数は11,077店舗、オーダー数に関しましては約576万件となっております。その結果、当第3四半期連結累計期間の出前館事業セグメントにおける売上内訳は、基本運営費202,344千円、オーダー手数料665,864千円、広告収入53,414千円、その他144,761千円となりました。

②通信販売事業

通信販売事業セグメントにおきましては、機動的なコールセンターを運営し、高品質な焼酎を中心に、飲食店向けの通信販売を行っております。当第3四半期連結累計期間の売上高は、160,882千円となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における流動資産残高は、前連結会計年度末比で1,100,325千円増加し、1,979,433千円となりました。増加の主な要因は、投資有価証券の売却による収入及び株式会社薩摩恵比寿堂を連結子会社化したこと等により、現金及び預金が952,013千円増加、商品及び製品が63,280千円増加したこと等によるものであります。

固定資産残高は、前連結会計年度末比で222,745千円減少し、1,255,389千円となりました。減少の主な要因は、株式会社薩摩恵比寿堂を連結子会社化したこと等により有形固定資産が37,587千円増加、無形固定資産が431,800千円増加した一方、投資有価証券の売却等により投資その他の資産が692,133千円減少したことによるものであります。

以上により総資産残高は、前連結会計年度末比で877,579千円増加し、3,234,823千円となりました。

流動負債残高は、前連結会計年度比で360,757千円増加し、521,083千円となりました。増加の主な要因は、法人税等の支払いにより未払法人税等が32,706千円減少した一方、株式会社薩摩恵比寿堂を連結子会社化したこと等により、支払手形及び買掛金191,285千円増加、未払金58,897千円増加、1年内返済予定の長期借入金が99,170千円増加したこと等によるものであります。

固定負債残高は、前連結会計年度比で451,362千円増加し、451,362千円となりました。増加の主な要因は、株式会社薩摩恵比寿堂の株式取得のため、長期借入金が400,830千円増加したこと等によるものであります。

純資産残高は、前連結会計年度比で65,460千円増加し、2,262,378千円となりました。増加の主な要因は、配当による減少が36,383千円あった一方、その他有価証券評価差額金が65,437千円増加、四半期純利益を48,495千円計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年8月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月17日の「平成25年8月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年9月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これにより当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	651,144	1,603,157
受取手形及び売掛金	148,831	160,848
商品及び製品	—	63,280
繰延税金資産	8,710	18,729
未収入金	67,599	103,993
その他	13,947	40,556
貸倒引当金	△11,125	△11,132
流動資産合計	879,108	1,979,433
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,157	47,909
減価償却累計額	△4,958	△14,940
建物及び構築物(純額)	2,198	32,968
土地	139	139
その他	108,105	137,200
減価償却累計額	△99,693	△121,971
その他(純額)	8,411	15,229
有形固定資産合計	10,749	48,337
無形固定資産		
ソフトウェア	569,833	395,457
ソフトウェア仮勘定	17,931	61,537
のれん	—	562,432
その他	—	138
無形固定資産合計	587,764	1,019,565
投資その他の資産		
投資有価証券	816,880	65,120
繰延税金資産	37,604	25,015
差入保証金	24,259	27,409
その他	1,747	73,479
貸倒引当金	△871	△3,538
投資その他の資産合計	879,620	187,486
固定資産合計	1,478,135	1,255,389
資産合計	2,357,243	3,234,823

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	—	191,285
1年内返済予定の長期借入金	—	99,170
未払金	90,554	149,451
未払法人税等	40,223	7,517
賞与引当金	5,456	8,205
その他	24,092	65,453
流動負債合計	160,326	521,083
固定負債		
長期借入金	—	400,830
その他	—	50,532
固定負債合計	—	451,362
負債合計	160,326	972,445
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,113,300	1,113,300
資本剰余金	664,451	664,451
利益剰余金	709,915	722,027
自己株式	△238,524	△238,524
株主資本合計	2,249,144	2,261,255
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△65,437	—
為替換算調整勘定	△951	△115
その他の包括利益累計額合計	△66,389	△115
新株予約権	14,162	1,237
純資産合計	2,196,917	2,262,378
負債純資産合計	2,357,243	3,234,823

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)
売上高	1,227,267
売上原価	396,333
売上総利益	830,933
販売費及び一般管理費	652,524
営業利益	178,409
営業外収益	
受取利息	599
その他	1,642
営業外収益合計	2,242
営業外費用	
支払利息	216
貸倒引当金繰入額	3,075
為替差損	224
支払手数料	945
その他	99
営業外費用合計	4,561
経常利益	176,089
特別利益	
投資有価証券売却益	23,143
新株予約権戻入益	12,925
特別利益合計	36,068
特別損失	
固定資産除却損	9,235
減損損失	79,526
関係会社株式評価損	16,289
その他	3,890
特別損失合計	108,941
税金等調整前四半期純利益	103,216
法人税、住民税及び事業税	53,449
法人税等調整額	1,270
法人税等合計	54,720
少数株主損益調整前四半期純利益	48,495
四半期純利益	48,495

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	48,495
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	65,437
為替換算調整勘定	836
その他の包括利益合計	66,274
四半期包括利益	114,769
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	114,769
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	出前館事業	通信販売事業 (注) 1	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,066,384	160,882	1,227,267	—	1,227,267
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,066,384	160,882	1,227,267	—	1,227,267
セグメント利益	347,045	2,063	349,109	△170,700	178,409

(注) 1. 「通信販売事業」の区分は、株式会社薩摩恵比寿堂であります。なお、株式会社薩摩恵比寿堂は、平成25年5月17日より当社の連結子会社となったため、平成25年5月1日から平成25年5月31日までの売上高及びセグメント利益を記載しております。

2. セグメント利益の調整額△170,700千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは第2四半期連結会計期間まで「出前館事業」のみの単一セグメントでありましたが、当第3四半期連結会計期間に株式会社薩摩恵比寿堂を連結子会社化したことに伴い、当第3四半期連結会計期間から、同社が運営する「通信販売事業」を新たに報告セグメントといたしました。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「出前館事業」セグメントにおいて、平成24年12月14日開催の取締役会の決議により、平成25年2月末日付けで、お取り寄せ事業を停止することといたしました。また、平成25年5月17日開催の取締役会の決議において、当社の連結子会社である夢創会(北京)商務諮詢有限公司(本店:中国・北京市)株式の全部を譲渡することの決議等を行っております。当該事業の停止、連結子会社を譲渡することの決議に係るソフトウェア等について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては79,526千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「通信販売事業」セグメントにおいて、平成25年5月17日付で株式会社薩摩恵比寿堂の全株式を取得し、連結子会社といたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において571,965千円であります。